

図書館だより

薄 墨 の 桜

松江市立図書館長

田 口 和 雄

張りつめた桜の花の命は短くて、ある日突然に、行方でもあるかのように散って行く。だが桜の寿命は、人間の計り知れない歳月を刻むものも多い。中でも、岐阜県根尾谷の「淡墨桜」は、1,400年とも1,500年ともいわれる。

宇野千代さんが、この老桜巨木に引かれて訪れたのは、昭和48年春。悪路の上、訪れる人も、知る人も少ない中で、ひとりこの古木は衰え、枯死かと思われる姿にあった。宇野さんは、この桜の再生への思いを深めながら書き綴る。後にこれが『薄墨の桜』として出版された。

実は、昭和24年当時も、この古木は枯死を迎えていた。根の多くは腐り、白アリが巣くっていた。これを処理し、生き残りの根に、若木の桜の根を238本も継いで、見事生き返らせたのが、当時歯科医であった、前田利行医師であるという。

宇野さんの『薄墨の桜』から、この話が「花咲かじいさんはお医者さん」という教材になって、小二の教科書にのった。これ

に引かれた出雲市立今市小の皆さんが、宇野さんと文通を始めたのである。これに感動した宇野さんは、遂に初の飛行機旅で、今市小学校の校庭に立つのである。

それは、昭和61年7月、89歳の宇野さんと、三年生の皆さんとの出会いであった。この時の感激を宇野さんは、『生きて行く私』（昭61年11月刊）の中の「また会いたい出雲の子供たち」（7月20日記）に、つい二、三日前に、出雲の今市小学校へ行って帰って来たばかり、との書き出しで書いている。

よほど子どもたちとの接触が暖かかったのであろう。その後の著書『倅を求めて生きる』や『しあわせな話』の中でも、この時の喜びを語っている。そして、持参した薄墨桜の苗木を、みんなして校庭に植えた時が、最高の感動であったという。

毎年さくら時を迎えると、私は、宇野さんの桜と、この薄墨桜の事を思い出す。

平成11年度 島根県

講座名	万葉集を読む会	出雲国風土記を読む会	しまね文学散歩	古
				近
開催日	毎月第2木曜日	毎月第2金曜日	毎月第3日曜日	毎月第1土
時間	14:00～16:00	13:30～15:00	10:00～12:00	14:00～16
講師	島根大学名誉教授 小原 幹雄	島根女子短期大学 学長 藤岡大拙	広島文教女子大学 教授 寺本喜徳	平田市立図 館長 藤澤
募集人員	50名	80名	80名	50名
対象	一般	一般	一般	一般
内 容	現存する最古の歌集「万葉集」の解説と鑑賞を行います。 原文の解説にとりくみつつ古代文化の精髓にふれる講座です。 テキスト 「万葉集 四」 新潮日本古典集成 新潮社発行	わが国でただひとつ完本として残っている「出雲国風土記」を購読しながら古代出雲の実相を把握し郷土のもつ深い歴史性を理解する講座です。 テキスト 「出雲国風土記」 加藤義成著 報光社発行	島根に生まれた近代文人や来遊文人たちの、山陰の自然や人間を描いた香り高い作品を読みます。文学を通して山陰の風土により身近に接していきます。 テキスト 「しまね近代文学読本」 寺本喜徳著	郷土に関する古文書をテキストに読解や当時を知る講座です。 テキスト 毎月当館で 代金は6ヶ月

◎会場はいずれも県立図書館集会室です。

◎受講料は無料です。

「しまね文学散歩」は、今年度から始まります。

幼児・児童読書普及事業モデル市町村 (平成11～12年度)

八雲村、佐田町、旭町、隠岐島後に決定

県立図書館では、「島根県読書普及振興計画」(昭和54年～)に基づき、県内図書館の振興に努めてきました。その振興計画の一つに子どもの読書普及活動があります。

上記4地域を対象として、11～12年度の2年間にわたり重点的に、読書普及指導員の派遣、必要な図書の貸出等の指導・援助を行います。

県立図書館各種講座

多数ご参加下さい

本館で読む会		図書館成人読書会	子どもおたのしみ会	親子で絵本を読む会
	中世			
日	毎月第3土曜日	毎月第2火曜日	毎月第4土曜日	毎週水曜日
時	13:30～15:00	13:00～15:00	10:00～11:30	15:00～15:40
館	島根女子短期大学 学長 藤岡大拙		県立図書館職員 ボランティア	県立図書館職員
定員	50名	50名	フリー	フリー
対象	一般	一般	小学生	幼児、小学生とその親
近世・現代・郷土	主に中世の古文書をテキストに読解はもとより史料の背景をなす郷土の歴史に及ぶ講座です。	参加者がグループを編成し、各グループ毎に同一本を読み、意見の交換をします。既にグループで読書活動を行っている方に対しては、読書会用図書と会場を提供します。	絵本の読み聞かせに紙芝居、手遊び、工作等を交えた楽しい催しです。本があって、そこから広がる楽しさ、喜びを引き出します。	当館職員による絵本の読み聞かせをします。親子で集団読み聞かせの楽しさを味わい、絵本にたのしみます。
別したものの毎に500円		テキスト 成人読書会用図書		

新規に申込みをされる方は、直接、又ははがきか電話で「受講希望講座名、住所、氏名、電話番号」を
〒690-0873 松江市内中原町52番地 島根県立図書館奉仕係 TEL 0852-22-5734

平成11年度 館内資料展示計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
テーマ	長く読みつがれてきた絵本	日本人とお茶	資料の保存について	中・高校生と戦争問題を考える	介護に関する資料展	鉄道で行く山陰の旅	変わる図書館	美術館に関する資料展	俳句に関する資料展	年中行事に関する資料展	中国四大奇書	99年度の受賞作品展

※展示場所：1Fホール

行事予定

4月



1 木	2 金	3 土 古書を 読む会(近世) 14:00~16:00
4 日	5 月 月曜休館日	6 火
7 水 親子で えほんを読む会 15:00~15:40	8 木 「万葉集」 読む会 14:00~16:00	9 金 「出雲國 風土記」を読む会 13:30~15:00
10 土	11 日	12 月 月曜休館日
13 火 成人 読書会 13:00~15:00	14 水 親子で えほんを読む会 15:00~15:40	15 木
16 金	17 土 古書を 読む会(中世) 13:30~15:00	18 日
19 月 月曜休館日	20 火	21 水 親子で えほんを読む会 15:00~15:40
22 木	23 金	24 土 子ども おたのしみ会 10:00~11:30
25 日	26 月 月曜休館日	27 火
28 水 親子で えほんを読む会 15:00~15:40	29 木 みどりの日 休館日	30 金 月末休館日



館内展示：長く読みつがれてきた絵本

5月



1 古書を
読む会(近世)
14:00~16:00

2 日	3 月 憲法記念日 月曜休館日	4 火 国民の休日 休館日	5 水 こどもの日 休館日	6 木	7 金	8 土
9 日	10 月 月曜休館日	11 火 成人 読書会 13:00~15:00	12 水 親子で えほんを読む会 15:00~15:40	13 木 「万葉集」 読む会 14:00~16:00	14 金 「出雲國 風土記」を読む会 13:30~15:00	15 土 古書を 読む会(中世) 13:30~15:00
16 日 しまね 文学散歩 10:00~12:00	17 月 月曜休館日	18 火	19 水 親子で えほんを読む会 15:00~15:40	20 木	21 金	22 土 子ども おたのしみ会 10:00~11:30
23 日 30	24 月 月曜休館日 31	25 火	26 水 親子で えほんを読む会 15:00~15:40	27 木	28 金	29 土

館内展示：日本人とお茶

※各種講座は講師の方の都合により変更する場合があります。

利用案内

●休館日

毎週月曜日・国民の祝日
毎月末日(月末が日曜日にあたると
きはその前日)
年末年始 12月28日~1月4日
図書整理休館(年2回、それぞれ10日間)

●開館時間 9時~18時

ただし、こども室は火曜日~土曜日は13時~18時
(第2・第4土曜日・日曜日および小・中学校の春・夏・冬休み期間中は
午前9時から開きます。)

●貸出し

冊数...5冊以内
期間...15日

編集発行 島根県立図書館 松江市内中原町52 TEL0852-22-5725

発行日 平成11年3月30日

FAX0852-22-5728